

ナショナル・アイデンティティの国際比較

グローバリゼーションが進展するなか、日本でも日常的に「外国人」と出会うことが増え、同時にその権利や処遇問題が議論されるようになってきました。あるいは「○○人である」ことの意味や起源についての論争は、まさに世界的な流行です。このように、我々が生きる日常のなかには、「我々は国民国家の成員である」という認識、つまり「ナショナル・アイデンティティ」が色濃くとけ込んでいます。

今回のセミナーでは、田辺俊介氏を講師として招き、量的社会調査データの国際比較を通じて明らかにされる「今」・「ここ」に生きる普通の人びとが抱くナショナル・アイデンティティについて、お話をさせていただきます。どなたでも、奮ってご参集ください。



日時

2009年11月25日(水)
15:00 ~ 17:00



講師

田辺俊介 氏
(東京大学社会科学研究所・准教授)



場所

大阪大学人間科学研究科
東館 303 教室